

## 市内地下水調査実施後の対応について

### 1 調査実施後の対応について

令和7年6月に実施した市内地下水調査において、調査を行った5地点のうち2地点でPFOS及びPFOAの合算値が国の定める指針値(50ng/L)を超過する結果となりました。

この結果を受け、指針値を超過した地点から概ね半径500m以内の範囲に居住する住民に対し、井戸水の飲用を控えるよう周知するため、チラシを配布しました。また、周辺の地下水水質の状況を把握するため、近隣地域の井戸で追加調査を実施しました。

なお、調査を行った地下水は一般家庭等で利用される、深さ10m程度の井戸から採取したものであり、深さ180m程度の深さから取水している水道水源等とは、水質的な関連性はありません。

### 2 調査日について

2025年(令和7年)10月2日, 7日

### 3 調査地区及び調査結果について

調査結果については、以下のとおりです。

単位: ng/L

地区名	PFOS	PFOA	合算値	PFHxS (参考)
魚住町中尾	前回調査地点(前回合算値 56)	29	30	59
	周辺A	1.5	11	12
	周辺B	6.5	24	30
二見町東二見	前回調査地点(前回合算値 87)	36	61	97
	周辺C	11	18	29
	周辺D	12	21	33
	周辺E	14	25	39
	周辺F	5.4	12	17
	周辺G*	5.0	31	36

\*周辺Gについては地下水ではなく湧水ですが、参考に調査を実施しました。

### 4 今後の対応について

指針値の超過があった2地点については、濃度推移を把握するため、当面の間、年2回の調査を実施します。また、参考に調査を実施したPFHxSの数値が、他の地点に比べ高い値を示した周辺Eの地点についても、年2回の調査を実施します。

なお、現在のところ汚染原因是不明であり、他自治体の事例を見ても特定は難しいと考えられますが、今後汚染源特定につながる調査の検討を行います。